

フィデューシャリー・デューティーの具体的取組事項にかかる 2024 年度取組実績

取組方針および具体的取組事項	2024 年度通期取組実績
方針 1 : 「お客さまの最善の利益の追求」	
<p>○企業と投資家の間に長期の信頼関係を構築するための施策を講じます。</p>	<p>▶ 方針 3 に記載の投資家等とのコミュニケーションによる長期の信頼関係構築を継続。 ▶ 企業とのエンゲージメント面談や 1 on 1 ミーティングをのべ 102 先と実施（国内 52 先、海外 50 先）</p>
<p>○企業価値の徹底した分析に基づく評価とその創造への提言の能力を備えた人財の育成のための施策を講じます。</p>	<p>▶ 例年、教育機関により提供されるプログラムを若手職員に受講させ、企業価値評価、投資戦略等のスキル、ノウハウ蓄積に努めているが、2024 年度はプログラムの開講時期（5 月）に受講対象者の該当がなく実績なし。</p>
方針 2 「利益相反の適切な管理」	
<p>○利益相反管理の有効性・適切性の検証の中で、当社の業務特性を踏まえた利益相反回避のための適切な方法を採用いたします。</p>	<p>▶ 利益相反管理方針に基づく管理を継続し、親会社等の役員を兼務する取締役、および親会社からの出向者に対し、不当な影響力行使や情報の守秘についての誓約書を受領。また、所属する役職員全員から内部者取引等防止に関する確約書を受領。</p> <p>○利益相反にかかる誓約書受領 親会社から当社に着任した出向者 4 名、兼務役員 2 名</p> <p>○内部者取引防止確約書受領 新規で当社に着任した 18 名から受領その他、弊害防止措置にかかる社内研修を実施</p> <p>▶ その他、弊害防止措置にかかる社内研修を実施</p> <p>○社内研修 弊害防止措置（2025 年 3 月）</p>

取組方針および具体的取組事項	2024 年度通期取組実績		
<p>方針3 「報酬へのご理解」</p> <p>○お客さまに定期的に実施する運用報告のほか、年次総会などの機会を通じて、当社の活動の内容をお客さまにご理解いただくための活動を実施いたします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 個人投資家向け年次総会を 12 月に投資先のメーカーにて実施。運用報告および同社への投資仮説の説明の後、同社より事業概要等の説明を受けたのち、施設の見学会を実施。 現地参加：18 名 ▶ おおぶね受益者との繋がりを深める機会として、おおぶね「繋～TSUNAGU～」プロジェクトを立ち上げ、第 1 回を 6 月 20 日に当社オフィスで、第 2 回を 12 月 18 日に大阪のレンタルスペースで、それぞれ受益者を招き開催。いずれも当社の紹介、投資戦略・企業分析の説明の他、グループディスカッション、Q&A を実施。 ▶ オンラインによる月次報告会（一部現地併催あり）を今年度も以下のとおり継続実施している。 <table border="1" data-bbox="714 735 2072 882" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">おおぶねメンバーズカンファレンス実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>合計 12 回実施（4/24, 5/31, 6/27, 7/25, 8/30, 9/27, 10/25, 11/29, 12/26, 1/31, 2/21, 3/31</td> </tr> </tbody> </table>	おおぶねメンバーズカンファレンス実績	合計 12 回実施（4/24, 5/31, 6/27, 7/25, 8/30, 9/27, 10/25, 11/29, 12/26, 1/31, 2/21, 3/31
おおぶねメンバーズカンファレンス実績			
合計 12 回実施（4/24, 5/31, 6/27, 7/25, 8/30, 9/27, 10/25, 11/29, 12/26, 1/31, 2/21, 3/31			

取組方針および具体的取組事項

2024 年度通期取組実績

方針4 「分かりやすい情報提供とお客さまにふさわしいサービスの提供」

○インベストメントチェーンの一員として運用会社様および販売会社様と連携し、各種メディアも通じて広く長期厳選投資の意義を伝えるための活動を実施いたします。

▶ 長期厳選投資の意義を伝えるため、主として以下の活動を実施。

活動実績	
販売会社等	合計 3 回 (楽天証券(3 回))
学生・学校向け講義	合計 12 回 (N 高(3)、東大、青翔開智&クラーク記念国際高、静岡文化芸術大、世田谷区教育委、片山学園、京大、世田谷中、昭和女子大附中、那須拓陽高)
メディア出演	合計 7 回 (ReHacQ、FM ラジオ interfm、BS テレ東、NHK、三重テレビ、日経 CNBC、テレ東 BIZ)
雑誌等掲載	合計 16 回 (PIVOT (7 回)、日経 (3 回)、東証マネ部、読売、NewsPicks など)
その他	合計 29 回 (JA 等向け (22 回)、金融教育学会、公務員向けセミナーなど)

○当社が組成する金融商品の特性を踏まえ、ご購入いただく対象として想定するお客さまの属性を特定・公表いたします。

▶ 当社が組成する公募 2 ファンドについて想定するお客さまの属性を特定し、ホームページにより公表を継続。

取組方針および具体的取組事項	2024 年度通期取組実績
方針5 「従業員に対する適切な動機づけの枠組み」	
<p>○教育・研修等を通じ、すべての役職員がフィデューシャリー・デューティー遵守の意識を共有するとともに、業績評価体系にお客さまのニーズ・利益に真に適う取組みに焦点を当てた評価項目を設けます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 四半期初の全体会議等において、当社の設立趣旨である「価値に基づく資本配分を通じた経世済民の実現」に向けた3つのステークホルダーに対する価値実現の目標について、全職員で共有することを継続。 ➤ 上記ステークホルダーに対する価値実現を目指すべく、主体的かつ相乗的に価値認識・実現できる職員をコンピテンシーとして評価するプロパー職員人事評価制度を適用中。
<p>○お客さまの信認に応えることを最優先事項として掲げ、役職員個人としての投資助言残高等の追求は業務上の目標として設定はいたしません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ お客さま本位の取組を最優先事項とし、投資残高等に基づく個人のインセンティブ目標は設定していないことを目標設定時に確認。